

253人が127議席を争う都議選はあす23日に投開票される。各立候補者は、自らの政策をかみ砕いて説明したり、細い路地まで歩いたり、有権者に必死に支持を呼びかけている。

名前覚えて 工夫の訴え

13都議選

あす
投票開票

練馬区のある候補は、夜の駅頭で、自作の大きなパネルを使って駅利用者へ都政の課題を約1時間かけて説明している。

パネルは全部で15枚用意。予算、教育、防災、議会改革など都政の八つの課題を円グラフや地図を使って分かりやすく示している。

教育では、都の奨学金施策を取り上げ、候補は「教育は全ての根源。学びたくても学べない子供がいなくなるよう、都の奨学金制度を充実させたい」と訴えた。

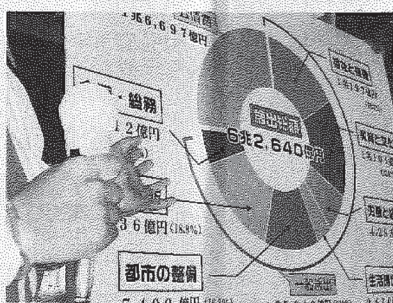
街頭での演説は公職選挙法で午前8時～午後8時に限られている。有権者に名前を売

自作パネルで駅頭に

り込もうと、早朝や深夜に駅で、あいさつをする候補もいる。

「お帰りのない」「夜遅くまで、お勤め、苦勞さまです」――。武蔵野市の候補は20日午後10時頃まで、JR三鷹駅の駅頭に立ち、名前を書いたたすきをかけ、仕事帰りの会社員らに繰り返し頭を下げた。

同市はベッドタウンのため、日中は都心などで働く会社員らに名前を覚えてもらお



パネルを使って都政の課題を訴える候補(練馬区で)